

so)

各国の取り組みと今後の日本にとっての挑戦

カナダのピープルファーストの国連障害者権利条約の実現に向けた取り組み

カナダにおける国連障害者権利条約の実施についてお話しします。単に「条約」と呼びます。

この条約が **21 世紀最初の人権条約**であることをご存じでしたか？

障害のある人たちの権利が明記され、守られ、促進されるようになるまでは長い年月がかかりました。

カナダは **2007 年、各国の署名を受け付る最初の日**に条約に署名しました。国中の障害のある人たちはとても喜びました。

次の**ステップは条約を批准**でした。批准することで、私たちの国において条約は正式なものになり、完全に遵守されることとなります。

しかし、長い間、何も起こりませんでした。**政府にはよくあることです。**

カナダのピープルファーストをはじめとする障害者団体は、アクションを起こしました。政府に行動するよう圧力をかけて、できる限り早く条約を批准してほしいのです。

ピープルファーストは手紙を書くキャンペーンを実施しました。この問題に関する葉書を作成して、**200 人以上の国会議員に送りました**。なぜこの条約が障害のあるカナダ人にとってとても重要なのかを伝えました。

また、条約がカナダにおける障害のある人たちにとって、障害者の権利と生活にとってどのような意味を持つのかについて、市民に教えました。

|

団体内では、ピープルファーストはすでに条約を守っていました。条約をカナダ言語の簡単な言葉で読めるバージョンを作成しました。理事、メンバー、ボランティア、スタッフに対し、条約の全条文について教育しました。

理事会は、ピープルファーストが従うべき条文を決めました。たくさんの条文の中から選びました。すべての条文が重要ですが、**すべてに取り組むことは不可能です**。

そこで理事会は、以下の条文が知的障害のある人たちにとって最も重要であると決定した。

- 8条-我々の特定の障害問題についての認識を高める権利
- 12条-**決定する権利（法的能力）**
- 19条 **地域で生活する権利（脱施設化に関する我々の活動すべてを含む）**
- 24条 **教育**
- 27条 **仕事と雇用**
- 28条 **生活水準**

これらの条文は、私たちピープルファーストの活動の基盤となっています。これらの条文は、私たちの仕事と活動の優先分野を決める指針になっています。

私たちは長年、これらの分野でたくさんの仕事をしてきました。例えば、これらの条文を分かりやすい言葉で説明する資料を作成しました。また『**自由の旅**』というドキュメンタリー映画を制作しました。この映画は、施設のサバイバーの物語です。この映画は国際的に知られ、カナダの多くの大学の障害に関する科目で使われています。私たちはまた1万1,000人以上の子どもたちに、**条約と障害者の権利についてプレゼンテーションを行いました**。

私たちはまた、すべての資金の提案を条約と私たちの優先条項に基づいて行っています。

ところで、カナダ政府は結局2010年に条約を批准しました。

しかし、1つの留保がありました。つまり、カナダが従うつもりのない条文が1つあったのです。**それは条約12条でした**。

カナダ政府はまた、選択議定書にも署名するつもりがありませんでした。

選択議定書は、障害のある人たちがカナダは条約における権利を侵害している
と考える場合、**国連障害者権利委員会に苦情を申し立てることを認めています**。
また、条約が守られているかどうかを監視することもできます。

つまり、障害者が苦情を聞いたり、解決したりする方法が限られるということ
を意味します。

また、**国内には条約を監督する人が誰もいない**ということでもありました。

そこでピープルファーストと障害者コミュニティは、再び政府に圧力をかけな
ければなりません。さらなるキャンペーン、報告書の発行や協議が重ね
られました。

カナダ政府は最終的にこれらの文書に署名しました。さらに **2019年に、カ
ナダ人権委員会が条約を監視し**、条約が遵守されていることを確認する責任を
負うことになりました。

カナダが条約を批准した際、政府は障害者の権利についてより多くの取り組み
を行うことを約束しました。その一環で、カナダ独自の取り組みとして、アク
セシビリティとインクルージョンに関する法律を整備しました。

この法律はアクセシブル・カナダ法と呼ばれています。2019年に施行されま
した。

障害のある人たちがこの法律に何を望むかについて、多くの協議が行われました。

ピープルファーストはそのチームの一員として、全国各地の知的障害のある人
たちとの協議を一緒に組織し、実施しました。また、私たちは協議の最終報告
書を簡単な言葉に翻訳しました。

アクセシブル・カナダ法の多くは、障害のある人たちにとってのバリアを取り
除くことを目的としています。それを行うために、この法律は、基準や規則を
作る委員会設置を定めました。

こうした規則などは、雇用や建物・場所・空間へのアクセスなどの多くの分野

において、障害のある人たちを助けます。

私はこの委員会の理事の一人です。私は知的発達障害のある人たちを代表しています。

簡単ですが、こんにちのカナダで、障害者権利条約に関してどのようなことをしているかを説明しました。

全体的に、この条約は、カナダのピープルファーストやより広い障害者コミュニティで、またカナダの政府が行なっている活動に非常に大きな影響を与えました。

ご清聴ありがとうございました。